



< 報告書 >

家庭の容器包装プラスチック
使い捨てプラスチック調べ
2022

308 人の声

2023年3月

大阪府生活協同組合連合会
全大阪消費者団体連絡会
地球環境市民会議（CASA）

<目次>

1. 家庭の容器包装プラスチック/使い捨てプラスチック調べ 2022 の概要	p 1
(1) プラスチック調べの目的	
(2) プラスチック調べの内容	
(3) プラスチック調べ参加者の内訳	
2. 家庭の容器包装プラスチック/使い捨てプラスチックの数	p 3
(1) 7日換算プラスチック合計数	
3. 調査後の意識の変化	p 4
4. 消費者 308 人の声	p 6
(1) 「不要と感じた容器包装プラスチック・使い捨てプラスチック」	
(2) 「プラスチックを減らすための工夫、提案、意見」	
(3) 「その他、感想・意見」	
5. 家庭のプラスチック調べ 2022 のまとめ&呼びかけ	p13
* 台所でプラスチック使用量を減らすアレコレ・分別回収をめぐるアレコレ	p15
* 家庭のプラスチック調べ 2022 記入用紙/提出用紙	p16

1. 家庭の容器包装プラスチック/使い捨てプラスチック調べ 2022（以下、プラスチック調べ）の概要

（1）プラスチック調べの目的

軽くて強く安価なプラスチックの普及で、私たち消費者は多くの恩恵をうけてきました。

しかし、その一方で、プラスチックの大量使用がマイクロプラスチックによる海洋汚染を引き起こし、焼却処分時には地球温暖化の原因となる CO2 を排出するなど、深刻な環境問題につながっていることが、指摘されています。

また、プラスチックに含まれる各種の添加剤（化学物質）やマイクロプラスチックが吸着する有害物質が、誤食した生物の体内に移行し、生物濃縮がおきていることが分かってきました。ヒトの健康に影響する懸念もあり、科学による早期解明が期待されます。

こうしたプラスチックのごみ問題について、消費者が日々の暮らしの中で気づき、考える“きっかけ”にすることを目的として、2020 年からプラスチック調べを実施しています。

3年間の参加者はのべ 1,138 人です。

<留意点 1 >

- ・プラスチック調べはプラスチックの是非を前提に置いて行う取組ではありません。
- ・家庭のプラスチックの数・分類の正確性を求める取組ではありません。

（2）プラスチック調べ 2022 の内容

- ・コンシューマーズ京都作成のフォーマット（2019 年実施）を一部変更して取り組みました。
- ・これまでは通常版 32 分類、簡易版 10 分類のどちらかの記入用紙を選ぶ方式でしたが、2022 年は簡易版 10 種類の記入用紙のみとしました。

①期間

- ・2022 年 6 月～11 月の間に、連続 3 日以上調べることを参加者に依頼しました。

②方法

- ・ごみとして捨てた容器包装プラスチックと使い捨てプラスチック製品の日毎の“数”（大きさ・重さは問わない）を、分類別に記入用紙に記録していただきました。
- ・提出用紙にはプラスチックの合計数、感想・意見等を記入していただきました。

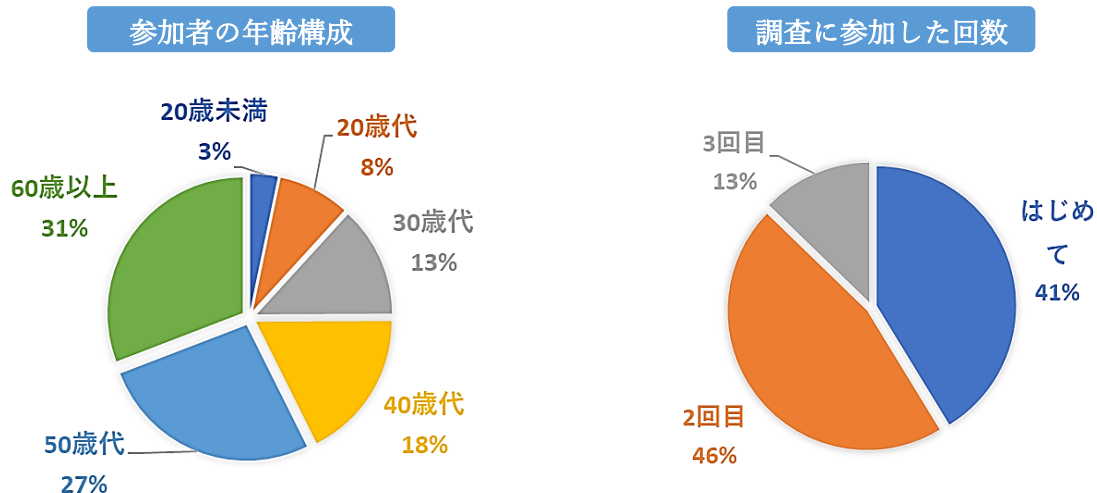
<留意点 2 >

- ・数えたのは「個数」です。重さ・大きさは考慮していません。
- ・参加者にプラスチックの数え方・分類を例示しましたが、実際には参加者の判断に依るところが大きいため、統一性は担保できていません。家族全員のプラスチックを数えたかも確認していません。
- ・数・量としての正確性を追求したデータではありませんので、ごみの数についてはある程度の傾向を示すものをご理解ください。

(3) プラごみ調べ参加者の内訳

① プラごみ調べ参加者の人数・構成

・308人の提出用紙を集約しました。今回はほとんどが地域購買生協の組合員でした。



	年齢	同居家族人数（本人を含む）							計	平均同居家族人数	
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人			未回答
	20歳未満			3	2	5			10	4.2	
	20歳代	9	6	4	4	2		1	26	2.5	
	30歳代	6	15	7	10	2			40	2.7	
	40歳代	2	2	19	23	6	2		54	3.6	
	50歳代	5	20	29	20	6		1	81	3.0	
	60歳以上	14	54	19	4			3	94	2.1	
	未回答		1		1			1	3	3.0	
	計	36	98	81	64	21	2	1	5	308	2.8

・参加者の居住地は次の通りでした。

大阪市	67	八尾市	5	松原市	2	交野市		阪南市	1	能勢町	
堺市	24	寝屋川市	24	羽曳野市	2	泉大津市	1	熊取町		田尻町	
東大阪市	14	岸和田市	2	富田林市	1	柏原市	1	島本町	2	千早赤阪村	
豊中市	8	和泉市	7	池田市	3	藤井寺市	2	豊能町	1		
枚方市	14	守口市	4	河内長野市	2	泉南市		忠岡町			
吹田市	30	箕面市	5	泉佐野市	3	大阪狭山市	5	岬町	2		
高槻市	21	門真市	1	摂津市	6	高石市	1	河南町			
茨木市	31	大東市	4	貝塚市		四条畷市		太子町		大阪府内計	296
神戸市	1	加古川市	1	京都市	1	奈良市	1	未記入	4		
尼崎市	2			長岡京市	1	葛城市	1			合計	308

2. 家庭の容器包装プラスチック/使い捨てプラスチックの数

- ・プラスチック数の集計は、調査日数・同居家族人数未記入のデータを除いた301人分で行いました。
- ・調べた日数に違いがあるので、7日換算して集計しました（ごみの数/調べた日数×7）。

		調べた日数（平均3.6日）								計	
		2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	7日間	8日間	10日間		12日間
調査 開始月	6月		54	9	3	4	4				74
	7月	1	47	5	3	3	1				60
	8月	1	8		2						11
	9月		34				2				36
	10月	2	60	17	6	7	9	1	1	1	104
	11月		12	2	2						16
計		4	215	33	16	14	16	1	1	1	301

(1) 7日換算プラスチック合計数

①プラスチック数の平均値 144.4 個。食品関係 73%。容器包装類 71%。

1. 飲料・酒					2. 食品			
容器本体			フタ・留具・ラベル・ラップ その他	合計	容器本体		フタ・留具・ラベル・ラップ その他	合計
ペットボトル	ペット以外のボトル	外袋・カップ・トレイ・チューブなど			ペットボトル	ペット以外のボトル・外袋・カップ・トレイ・チューブなど		
7.8	1.3	4.0	8.2	21.1	2.3	36.8	21.9	60.8
3. 添付の使捨て食器				4. 自分で購入した使捨て食器			5. 食品ラップ	
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計	合計
2.5	2.4	2.6	7.5	0.5	0.5	0.5	1.5	15.1
6. 生活用品				7. ペット用品				
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計	
8.5	7.6	5.3	21.3	0.4	0.5	0.2	1.1	
8. レジ袋・ポリ袋			9. 配達用の袋類			10. その他・不明		
本体	その他	合計	本体	その他	合計	容器本体	その他	合計
7.2	1.0	8.1	4.7	0.4	5.1	1.5	1.2	2.8

- ・7日換算したプラごみ数の平均値は144.4個、中央値は119.0個でした。
ただし、最多が977.7個、最少が1.4個で、ばらつきが非常に大きくなっています。
- ・平均144.4個のうち106.0個(73%)が食品関係(表の分類1～5)でした。
- ・容器包装類(表の「容器本体」と「フタ・留具・ラベル・ラップほか」)は102.8個(71%)、製品類(表の「製品本体」と「本体」および「食品ラップ」)は38.8個(27%)でした。
(注)「食品ラップ」は使用サイズに関係なく1枚捨てる毎に1個とカウント。
- ・レジ袋・ポリ袋は8.1個でした。

総合計	平均値	144.4	ごみ数	50未満	50～	100～	150～	200～	250～	300～	350～	400～	450～	計
	最大値	977.7	内訳		100	150	200	250	300	350	400	450		
	中央値	119.0	人数	43	80	68	44	24	16	11	8	5	2	301
	最小値	1.4	構成比	14%	27%	23%	15%	8%	5%	4%	3%	2%	1%	100%

②同居家族人数によるプラごみ数の違い

- ・同居家族人数が3人までは、人数が増えるに従って、プラごみ数が増えています。
- ・3人以上になるとプラごみ数は同程度になりました。

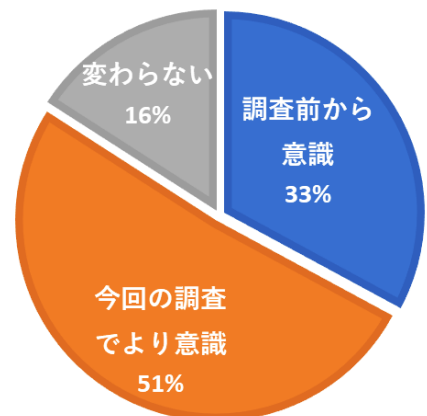
同居家族人数(本人含む)	回答数	平均値	中央値
1人	36	98.8	84.0
2人	97	129.4	112.0
3人	80	157.6	138.8
4人	64	159.7	135.3
5人以上(平均5.2人)	23	154.7	126.0

3. 調査後の意識の変化

- ・参加者には「調査後の意識」について、以下の質問に3択で回答していただきました。(回答数289)

<p><設問> 「調査前と比べて、買い物やゴミ出しをする時にプラごみについて意識するようになりましたか？」</p> <p><選択肢> 「調査前から意識していた」 「今回の調査でより意識するようになった」 「変わらない」</p>

- ・全体では「今回の調査でより意識するようになった」が51%、「変わらない」は16%でした。この調査に参加することで、プラごみに対する意識を高める効果が相当程度あると思われます。
- ・「調査前から意識していた」は年齢層が高いほど多くなりました。
- ・年代別では、母数が少ないですが、20歳未満で「今回の調査でより意識するようになった」が90%と最も高くなりました。



・「今回の調査でより意識するようになった」について、「調査前から意識していた」を除いて考えると、30歳代～60歳以上ではいずれも75%を超えています。20歳代では54%でした。この傾向は、参加回数別でも同様でした。

・調査回数が増えると、「調査前から意識していた」が増えています。

また、2回目・3回目でも「今回の調査でより意識するようになった」との回答が一定数ありました。

	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		計	
合計	10		25		37		53		75		89		289	
調査前から意識	0	0%	1	4%	5	14%	12	23%	35	47%	42	47%	95	33%
今回の調査でより意識	9	90%	13	52%	24	65%	31	58%	33	44%	38	43%	148	51%
(調査前から意識を除いた比率)				54%		75%		76%		83%		81%		76%
変わらない	1	10%	11	44%	8	22%	10	19%	7	9%	9	10%	46	16%

参加回数別	はじめて	8		8		12		16		29		44		117	
	調査前から意識					1	8%			10	34%	18	41%	29	25%
	今回の調査でより意識	7	88%	5	63%	8	67%	14	88%	17	59%	22	50%	73	62%
	(調査前から意識を除いた比率)						73%		88%		89%		85%		83%
	変わらない	1	13%	3	38%	3	25%	2	13%	2	7%	4	9%	15	13%
	2回目	2		16		19		31		34		28		130	
	調査前から意識			1	6%	1	5%	11	35%	19	56%	13	46%	45	35%
	今回の調査でより意識	2	100%	7	44%	13	68%	13	42%	13	38%	11	39%	59	45%
	(調査前から意識を除いた比率)				47%		72%		65%		87%		73%		69%
	変わらない			8	50%	5	26%	7	23%	2	6%	4	14%	26	20%
	3回目	0		1		5		6		8		15		35	
	調査前から意識					3	60%	1	17%	5	63%	11	73%	20	57%
	今回の調査でより意識														
	(調査前から意識を除いた比率)			1	100%	2	40%	4	67%	3	38%	3	20%	13	37%
							100%		80%		100%		75%		87%
	変わらない							1	17%			1	7%	2	6%
回数未記入	0		0		1		0		4		2		7		
調査前から意識									1	25%			1	14%	
今回の調査でより意識															
(調査前から意識を除いた比率)					1	100%					2	100%	3	43%	
														50%	
変わらない									3	75%			3	43%	

4. 消費者 308 人の声

- ・提出用紙には、記述回答欄として、次の3項目を設けました。
 - 「不要と感じた容器包装プラ・使い捨てプラ」
 - 「プラごみを減らすための工夫、提案、意見」
 - 「その他、感想・意見」
- ・記述回答の傾向、注目した内容を紹介します。

(1) 「不要と感じた容器包装プラ・使い捨てプラ」

<p>①食品の多重包装</p> <ul style="list-style-type: none">・食品の多重包装に関わる指摘が最も多く、70件以上ありました。野菜・果物、肉、魚、冷凍食品、弁当・総菜、菓子などで不要なものがあるとの声でした。・そのうちのほぼ半数がトレーでした。個包装には10件以上の声がありました。
<p>②ペットボトルのラベル</p> <ul style="list-style-type: none">・ペットボトルのラベルが不要との声は30件を超えました。
<p>③留め具</p> <ul style="list-style-type: none">・パンの袋や野菜の袋の留め具への声は15件を超えました。
<p>④添付のストロー・スプーン類</p> <ul style="list-style-type: none">・乳製品などに添付されていたり、店舗で渡されるストローやスプーン等が不要との声も15件程度ありました。一方、最近は減っているとの指摘もありました。
<p>⑤食品以外</p> <ul style="list-style-type: none">・紙箱の外装フィルム、レジ袋、ダイレクトメールの封筒、配達時の緩衝材等への声がありました。

(2) 「プラごみを減らすための工夫、提案、意見」

寄せられた声を、消費者の取組、事業者の取組、社会全体の取組に分けて紹介します。

(*趣旨を変えない範囲で省略、修正しています。)

< 1. 消費者の取組 >

<p>①必要のないものを買わない、プラでないもの・プラの少ないものを選ぶ・使う (Reduce)</p> <ul style="list-style-type: none">・普段の買い物から意識する、買い物回数を減らす・要るもの、要らないものが分かるよう家の中を整理する・不必要なものは購入しない、ムダに大量に買わない、使いきれぬ量を買う・食品を計画的に購入 (生協メイン、不足分を週1回買い物)・マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイスプーン、ステンレスストローを持ち歩く・エコバッグを複数持ち歩き使い分ける・ラップを無駄に大きく使わない、代わりに容器、シリコン、蜜蝋などを使う、ラップを手放す・個包装を買わない、大容量の商品を買いタッパーに分けて使う、詰替用を使う・自然素材のものを買って支援する、ビン入りを選ぶ、紙パックの飲料を買う

<ul style="list-style-type: none"> ・過剰包装のものは買わない、無包装のばら売りを買う ・新聞紙をゴミ袋代わりにする
<p>②プラを断る (Refuse)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋、プラストロー・スプーン、クリアファイルをもらわない
<p>③プラを再利用する (Reuse)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルを再利用、プラスプーンをペット用に再利用 ・レジ袋等の再利用、食品の包材・トレペの袋・生協配達袋などをごみ袋に
<p>④リサイクルする (Recycle)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと分別して、行政・店舗のリサイクルに出す ・コンタクトレンズの空ケースを専用回収 BOX へ ・生協の配達袋は返却してリサイクル
<p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁当は自分で作る、テイクアウトを減らす ・お茶を沸かす、パック入りでない茶葉を使う ・ペットの水を買わず浄水器を利用、家庭用炭酸水機を使う ・ごみ量を減らしてゴミ袋をへらす、生ゴミ処理機を使う ・ポイ捨てをなくす ・環境に対する意識を変える、知らせる ・プラごみ調べに参加する、用紙を配る、アプリを作る

< 2. 事業者の取組 >

<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルをラベルレスに、ラベルを紙製に、野菜を紙袋に、卵パックを紙製に、飲料を紙パックに、添付ストローを紙製に、個包装の外袋を紙製に、ダイレクトメールの封筒を紙製に、包材のサイズをコンパクトに、持ち帰り用に新聞紙提供 ・ばら売り、量り売り、 ・マイバッグ利用者にポイント付与
--

< 3. 社会全体の取組 >

<ul style="list-style-type: none"> ・プラスプーン等の有料化、ペットボトルの使用禁止 ・公共施設にウォーターサーバーを設置 ・大量生産・大量消費の仕組みを見直す ・一人ひとりの行動の効果として、削減できた CO₂量などが分かる仕組み（アプリ）で意識を高める
--

(3) 「その他、感想・意見」

ここでは、具体的な声（記述回答文）を紹介します。（*趣旨を変えない範囲で省略、修正しています。）

① プラごみの多さの声

<p>意識すると、日常で使用するプラスチックは多いなと改めて実感します。捨てるのも手間なので、余計なものもらわないようにします。</p>	<p>コロナ禍になり、外食でなくお持ち帰りを多く利用するようになり、プラゴミがすごく多くなっていると思う。</p>
<p>結構な量のプラゴミを出しているんだなと思った。分別も今まで以上にしっかりやっ払いこうと思う。</p>	<p>日常生活でよくゴミを捨てていて、ビニールなどポリ袋の使用をもっと減らせるのではないか？と思いました。出来る事は試すことが必要だと思いました。</p>
<p>こんなにもプラスチックに頼っていたのだなと感じた。プラスチックがない世界を想像できないなと感じたが、環境のために地球のために自分たちのためになるべく使わないよう買わないよう、そしてプラスチックにかわる代役を考えていきたいと思った。</p>	<p>身の回りのプラ製品を子どもと一緒に考え、どれだけプラスチックに囲まれた生活なのかよくわかりました。</p>

② 分別・再利用についての声

<p>プラがすべて”悪”だとは思いません。しっかり分別し、行政のゴミ回収に出し、リサイクルできるものは循環させていけば良いと思います。</p>	<p>今の暮らしの便利さにプラはかかせない感じが否めない。今の私たちにできることは、リサイクルできるものは適切に分別して処理（処分）するしかないのでしょうか？</p>
<p>今後、ゴミ箱に捨てる前に、分別、リユース、リサイクルに回すべきものか考え直す事が大切だと思いました。</p>	<p>消費者自身が、プラ製品に対して、分別することが一番の解決策だと思います。</p>
<p>プラスチック等のゴミがどのように最終的に処理されているか知りたい。ただ燃やすだけなら、可燃ゴミと同じなのでリサイクルや再利用？になっているのかわかれば、キレイに洗ってゴミだしも目的がもてるが、ただルールをいわれてそれにしたがうゴミ出しは全員ずっと守れるのかギモンが残る。</p>	<p>ちまたには安価なものがたくさん出回っていますが、プラスチック製品が多いですね。よく考えて購入しなければならないと思いました。使い捨てプラ製品も回収していくようになると聞きました。個人個人での取り組みもだいじですが、メーカーさんも一丸となって取り組んでいかないといけないところにきているんだと思います。私も地域の皆さんに学んできたことを発信して、より多くの人にお知らせしてみんなで取り組んでいこうと思います。</p>
<p>冷凍スパゲティの袋（内袋）は洗ってだした方がいいのか。そのまま捨てた方がいいのかわかりません。あと、油の入っているものも…</p>	
<p>識別マークを見分けるのは、忙しい時面倒だ。</p>	

③ プラごみ調べに関わる声

<p>プラゴミ調査をしないとプラゴミとして気がつかないゴミが多い事がわかりました。正の字で1つずつカウントしていくと意外に楽しく、そして、改めてプラゴミの多さに気がつきました。</p>	<p>まじめに数を数えていると、ほんとにたくさんのゴミを捨てているなと感じました。プラごみ調べ以降もゴミを意識して生活をしようと思いました。</p>
<p>普段からなるべくプラゴミが出ないように意識しているつもりですが、どんなものが多いのかが目に見える形でわかるので、良かったです。</p>	<p>ゴミを少なくと思って生ごみは土に返し、一般ゴミも少ない方だと思っています。しかしプラゴミがいつも沢山だなあと感じていました。実際にプラゴミ調べをして「これも～」と驚きの数に！！</p>
<p>今回の調査で、如何に多くのプラゴミが無意識に廃出されていたのか、理解できたのは、良いことだと思います。「これがプラごみなのか？」と判断つかないようなゴミも多く自分が住む地域の分別ルールも理解する必要性を実感いたしました。</p>	<p>家庭のプラゴミ調べに初めて参加しました。エコバックを使用していてレジ袋がほとんどない中、広げてみるとバイオマスプラ…植物性由来の原料を配合することで石油系原料の使用削減とCO2使用排出抑制に貢献しています。今まで広げてみたこともなかったので勉強になりました。</p>
<p>3回目のプラごみ調べ。今回は夫をしっかり巻きこみ、いかにプラごみが多いかを肌で感じてもらいました。たのしくできましたよ。今回の記入表は保存しておき、今後時々、我が家独自で継続してゆく所存です。でもプラの便利さも実感しました。今回7日分のプラごみ写真をとって保存し、今後減ってゆくことを楽しみにしてゆきます。</p>	<p>今回初めて参加しました。3日間ですが、それなりに使っていることにびっくりです。日頃から気を付けて生活してきたのですが、まだまだです。昔のような量り売りビンで買うことなど、食事はなるべく家で調理し、食材の無駄を少なくしてきたつもりでしたが、もう少し努力が必要だと感じました。</p>
<p>3回目のプラごみ調べ。今回は夫をしっかり巻きこみ、いかにプラごみが多いかを肌で感じてもらいました。たのしくできましたよ。今回の記入表は保存しておき、今後時々、我が家独自で継続してゆく所存です。でもプラの便利さも実感しました。今回7日分のプラごみ写真をとって保存し、今後減ってゆくことを楽しみにしてゆきます。</p>	<p>プラゴミ調べに参加しプラゴミ問題を改めて考えるようになりました。私には2020年に産まれた孫が2人いますがその子たちが大人になった時今よりは少しでもこの問題が解決して欲しいと思っています。それには私たちがプラスチックから受ける恩恵を少しずつ減らしていく努力をしていくしかないように思います。</p>
<p>食材1つでも、フタ、留具等、数個のプラゴミがあり、チェックがめんどろでした。と言うことは、それだけ？ゴミはでるけど…。こんなに重複する前は、どんなだったんでしょう。と書きながらボールペンのインクが無くなり捨てました。</p>	<p>日頃からプラゴミの多さに驚いていますが、今回、さらに意識するように分別すると、何が多いか分かりました。この結果が平均的なのか多いのか少ないのか知りたいです。改めて意識することになり、よかったですと思います。</p>
<p>前回にくらべて捨てるプラスチックゴミが減ったように思います。自然にやさしい商品を買っていきたいと思います。プラスチックゴミが少しでも減ることを願っています。</p>	<p>3回目（だと思います）の調査ですが、1回目とゴミの状況は変わっておらず、相変わらずプラゴミの出やすい包装になっていると感じました</p>
<p>「プラゴミを減らす。これをいつも意識して生活</p>	<p>以前の調査の時は、マイバッグを使ってもレジ袋が意外と出ていたように思うが、今回期間中</p>

<p>していきます」自分がどんなプラゴミをどれだけ出しているのか見つめる事も大事だと思うので時々プラゴミ調べにも参加したいです。</p>	<p>1枚も出なかったことに驚いた。 年々プラゴミを減らせているのがうれしく感じます。このプラゴミ調べのおかげです。</p>
<p>プラゴミ調べをしてから道に落ちてるゴミがとても気になります。タバコのフィルターの部分は石油系のプラスチックではないと聞きますが分解に10年もかかるのであればやはり問題のような気がします。最近月1回程度ですが近所の人達とゴミ拾いをします。タバコのフィルターだけ残った物をよく見かけます。触るとバラバラになります。とても気になります。</p>	<p>買い物時、意識してプラゴミの出ない商品を選びたいと思いました。プラゴミの出ない買い物…はかり売り、ばら売りのお店個人商店での買い物にあこがれますが、なかなかできていません。 生協の注文書には、使い捨てプラ商品が多数載っていて、目につくようになりました。私の意識が変化しているなあと思います。 毎日記録するのが大変なので、手軽に入力できるアプリや仕組みがあれば助かる。</p>

④プラゴミ問題の難しさの声

<p>とにかくプラゴミが多いと思うが、衛生面を思うと仕方ないような気もする。欧米では意識が高いのがすごいと思う。</p>	<p>商品の大量生産、品質の保持、物流上はプラスチックは有用性があります。総量を減らすための、ブランドデザインが必要ではないでしょうか。</p>
<p>食品の包装プラスチックがいかに多いか改めて思いましたが、個包装とかやっぱり便利だし、必要なものもあるし、むずかしいなあ・・・。</p>	<p>環境に悪影響だと知りつつも、やっぱりその他の梱包材にくらべるとプラスチックは便利です。今よりもっと環境に負荷の少ない処理方法がみつければ、それが理想的ですが、今すぐは難しそうなので、社会が変わり、一人一人が意識を変えていく必要があるのだと、改めて感じました。</p>
<p>プラゴミを減らさないといけませんが、すべて脱プラスチックにすると、さらにごみが増えたりすることもあるので、難しいと思いました。</p>	<p>前回調査に引き続き、たくさんのプラゴミに改めてびっくりした。「正」の字を書くのに疲れた。「何とかならないかなあ」と考え「プラ」がないときはどうしていたのかと思った。子どものとき近くのスーパーや商店では購入後、もち手のないただの紙袋に入れてわたされ、靴に入らないときは、破れないかとヒヤヒヤしたので、今のレジ袋になったとき嬉しく思った気がする。「プラ」は今では悪い物、削減しないとイケないものとはばかり言われているが、役に立っていたこともあると思うので「プラの功罪」を知り、上手につきあっていきたい。</p>
<p>身の周りはプラ製品であふれています。かといって昔のように戻すのは難しいとも感じています。プラの前は紙だったものも多いですが、そうなるともた木不足になるのでしょうか。</p>	<p>今の時代、包装が必要になっているんだなと感じた。清潔や商品へのいたづらを考えると(クレーム含む)包装が重装備になって行くんだなと思いました。減らせる提案は難しいです。</p>

<p>私は飲料、おそうぎいは、あまり買わないので、プラゴミは少ないかなと思っていました。でも調べると、とても多くびっくりしました。今後、どうやって、プラゴミに向かい合い、減らすか方法がわかりません。</p>	<p>やはり袋、プラスチックは必要なものです。飲料類のラベルレスプラ容器をうすくするなど私達の意識+企業の努力、まだまだ頑張らなければならないと思います。</p>
<p>今の世の中プラスチック製品が無ければ困る。それに代わる物が出てくれば喜んでそちらを選びたい。しかし価格との相談もあるし・・・難しい問題だがその中でよく考えて本当に必要な物を買っていきたい。100均で安いからと今要らない物を安易に買わない事を肝に銘じたいものだ。</p>	<p>毎回プラごみを出すたびにいちばんたくさんあると感じます。お店で購入するとセットでついてくる減らせるものや減らせないものがありむずかしいです。</p> <p>CO₂削減と言っていて頭ではわかっているが 何をしたらいいかわからない。</p>

⑤事業者への声

<p>プラを使用し商品販売する企業はプラゴミによる環境汚染に責任を持って欲しい。販売で終わらず回収→処理まで</p>	<p>売っているもののプラを減らさないといけないと感じました。とりわけ夏に必要な飲料はペットボトルが多すぎる。</p>
<p>洗剤などメーカーがどんどん新製品を発売し、馴染んだ商品はいつのまにかなくなっていく現状。競争会社では、しかたがないことでしょうか、新しいプラ包装の商品を買わざるを得ない時、ゴミがふえる罪悪感みたいなものを感じています。</p>	<p>お菓子など個包装と大袋のみと選べるようにしてもいいのでは・・・と思います。とにかくゴミは買わない努力が必要です。</p>
<p>プラ製品を使いたくないと思いつつも選択肢に他の素材のものが無いと、しかたなく購入せざるを得ないということが多々ある。もっと製品を作る企業側に努力してほしいと思う。全てを今すぐに変えたり 本当にプラでなくては困るものもあることは確かだと思うが、生活の中で1つつでもプラ以外に変えていくことを消費者が真剣に考え、行動することを意図してやる必要がある。「これくらいは・・・」という気持ちを、もう一度よく考えていかなければいけない。</p>	<p>スーパーの肉売り場はトレーに一枚ずつ肉が並べられていて傾けて帰ってくるとトレーの3分の1ぐらいに肉がよってしまっているのを見ると、こんな大きなトレーいるのかしら!?!?とってしまいます。</p> <p>ほとんどの商品は包装されている。ばら売りとか多くなれば良いのでは。ラベルはボトルに直接印刷すればよいのでは</p> <p>食品などの包装については企業努力で少なくする方法を解決する事が大きいと思う。生ものや水漏れする食品もしっかり包装できる器が開発されたらプラの量は激減するのでは。</p>
<p>菓子類は個包装のものが多く、減らすことはむずかしいです。パンやウインナーなど包装の袋が変更されてクロージャーテープが無いメーカーさんも増えてきたことは良いと思います。</p>	<p>レジ袋や使い捨てのスプーンなどは減ったけど、まだまだ使い捨てプラスチックが多いなと思います。お菓子の個包装については「キットカット」が外袋のみ紙製にいつからかなりました。そういうちょっとした変化から、変わっていくと思うし、私たち消費者が、そういう行動をしている企業を応援して後追ししていかなければな、と思います。</p>
<p>炭酸水飲料用のペットボトルもカバーを無くしキャップで商品の表示をするように移行しているのが目につき始めました。メーカーの努力、消費者の考え方の変化で変わりつつありますね。</p>	<p></p>

⑥行政・社会への声

<p>住んでいる自治体が分別回収していないので、なかなか意識向上は難しいと感じます。</p>	<p>今回、家庭のプラゴミ調べに参加し、生活用品はほとんどがプラ製品を使用しているなと思いました。社会全体でプラ用品を他の物に代替できる工夫を考えなければいけないと思いました。</p>
<p>プラごみの収集日が月2回なので、すぐにいっぱいになるので週1回にしてほしいです。</p>	<p>以前からプラごみが多いと思っていました。この調査に参加してより一層感じました。個人の取り組みだけでは限りがある。そういう私がどこまで意識して取り組んでいるか疑問だが、社会全体として本気で減らしていく必要がある。昔は当たり前だった、酒しょうゆの瓶のリユース、手間やお金がかかっても始めてはどうでしょうか。</p>
<p>子供の頃からずっとプラスチック包装やプラスチック用品に慣れ、親しんできたので急に減らすとなると無理ですが、必要か必要でないのか、それに代わる物がないのかなど考えていきたいと思いました。ネスレ日本の「キットカット」外袋の紙パッケージ化など個人だけでは力不足。社会から変わる時代に来てると思います。</p>	<p>子どもと一緒にリサイクルできる会場や施設が近くにあれば遊び感覚で学べると思います。</p>
<p>レジ袋を有料にしても、レジ袋を製造している会社がある限り、解決にはならないと思う。ペットボトルやプラ製品の製造に対して規制をすると共に、消費者の意識の変革も必要と思う。</p>	<p>2021年5月にPETを分解する「イデオネラ・サカイエンシス」細菌が発見されたと新聞に載りました。こういった研究に国は支援してほしい。</p>

⑦その他の声

<p>一人一人のちょっとした心掛けで環境が守られていくので、少しずつですが取り組んでいこうと思います。</p>	<p>自炊すると、プラゴミも少ない。自分達が「必要な分だけ購入し、作る」を心がけていきたいと思いました。</p>
<p>自分自身、きちんと取り組めていない場合もあります。忙しい時はそのままポイしてしまう事もあります。もう少しがんばろうと思いました。</p>	<p>紙製と思っていたものが、ラベルを見ると、プラスチックだった。ラベルを見て、購入する事にしよう。不織布マスクは紙だと思い込んでいました。世界中の人達が使っているマスク。処理はどうなっているのだろう、と思います。</p>
<p>将来の地球の環境のことを考えて、もっとゴミを出さないように気をつけて生活しようと思った。</p>	<p>我が家のゴミは私が捨てる担当なので、ゴミの量が多いと、重いな、大変だと実感します。(プラゴミは軽いですが、かさばります)少しでも自分の負担が減るよう、購入時に気をつけて、地球のためにも貢献出来ればと思います。</p>
<p>私達の生活が便利になる程、プラ製品が増え、プラだけでなく、ゴミ自体の多さに驚きや不安などを感ずります。プラ製品が無い時代を思い出し、戻す事も必要になっています。数年後には、プラ製品の使用にも優先順位が付き、そのうちお金で解決できない時代になると思います。今から出来る事を1つずつ始め、それが常になればまた1つと、皆で気を付けて、考えて、未来につなげていきたいです。</p>	<p>基本的なことだが、ゴミ(プラも含めて)を道ばたに捨てないことを徹底すれば、少しはきれいで住み良い街になると思う。自分の出したゴミに責任を持つようになって、子孫や動物、地球、宇宙のことを考え、物を大切にしよう。</p>

みんなが資源を守る気持ちと、物を大切に扱う気持ちを持たば、商品を守るための外袋プラなどはいちもう少し減らせるのではと思います。	コープ商品から大きく脱プラの流れを作っていただくことを期待しています!
全ての物が包装されててそれが安心・きれいだと思われてる事がこれから先の世の中、どれだけ怖い事なのかもっと考えるべきだと思われた。	サッカー台に袋が置いてあるポリ袋をつい使ってしまった。このクセをなおさないといけないと思った。あと、外食をすると食品のプラごみが思ったより少ない。テイクアウトよりイートインの方がプラごみに関しては地球にやさしいのではないかと思う。
今、自分達の生活は石油製品の上で成り立っていて便利さを享受していますがせめて自分の出したゴミは責任を持って処理したいと思います。	
高齢者2人の世帯です。プラゴミの中で薬の包材が1位でした。健康でいることが地域にもお財布にも優しいと思いました。	脱プラの意識が世間に広がっていて企業の取り組みなどもとても大きな事だなと思います。家庭でも皆に浸透するようになってきました。これからはできる事から少しずつ取り組んでいこうと思います。
マイクロプラスチックが人体におよぼす影響を想像すると、ごみの減量を今後も意識しないといけないと思った。	

5. 家庭のプラごみ調べ 2022 のまとめ&呼びかけ

2020年から3回目となる「家庭のプラごみ調べ 2022」には308人の参加がありました。3回トータルの参加者はのべ1,138人で、毎回たくさんの「声」をお寄せいただいています。

調査の中から見えてきたことをまとめ、呼びかけます。

(1) 自分が捨てているプラごみを見つめましょう

消費者が日々の暮らしの中で気づき、考える“きっかけ”として、自分が捨てているプラごみを再確認することには、とても効果があることが今回も確認できました。

「家庭のプラごみ調べ」のフォームも使って、気軽にプラごみを見つめてみましょう。

(2) 科学の知見に学び、プラごみ対策の緊急性を共有しましょう

プラごみ問題の解決は難しい課題です。お寄せいただいた「声」にも様々な考え方があります。消費者がお互いの「声」を受け止めあって考える姿勢を大切にしたいと思います。

一方、最新の科学の知見は、プラスチックが急速・大量に使われるようになった結果、当初は知られていなかった悪影響－生態系汚染・温暖化の一因となることから人体への影響まで－を及ぼすリスクを明らかにしつつあります。既に環境中に拡散したプラスチックの回収は不可能で、実際に悪影響が生じることが確認されても回復は困難とも指摘されています。

ですから、リスクを放置して使い続けるのではなく、今すぐ対策を強める必要があるという点を一致点として広く共有しましょう。

(3) 3Rの優先順位で、それぞれ大胆な取組を進めましょう

リデュース（減量）、リユース（再利用）、リサイクル（再生）の3Rを、この優先順位で取り組むことが、ごみ減量の原則です。

プラごみ問題も一つの手法で一気に解決することはできません。環境汚染と焼却による二酸化炭素排出の両面への対策となるのは使用量の削減（リデュース）です。リユース・リサイクルを無限にし続けることはできません。リデュースを最優先に、3つのRそれぞれを大胆に取り組むことを考えましょう。

（4）プラごみ減らしを楽しみましょう

消費者は、自らのくらしを見直して、少しずつではあってもプラごみを減らすことができます。

（2）「プラごみを減らすための工夫、提案、意見」の＜消費者＞の欄も参考に、できることからチャレンジして、無理せず長続きさせましょう。

（5）企業・行政にも「声」を届けましょう

一方、消費者だけの努力でプラごみを大きく減らすことはできません。プラスチック量が少ない商品、使っていない商品を探すだけでも大変です。企業の努力や社会全体での取り組みが欠かせません。

企業や行政の取り組みが徐々に進んでいるという「声」も今回寄せられました。

そのための消費者の大切な役割として、くらしの中で気づいたこと、感じたこと…「この包装は過剰では？」「こんな情報を知りたいです」など、ちょっと勇気を出して、企業や行政に伝えましょう。

〜〜〜 プラごみ減らしを楽しみましょう 〜〜〜

- ・私たち消費者は、プラスチックをくらしのあらゆる場面で使っていますから、プラごみを減らす時には、自分のくらし方を少し変えることが必要になります。ですから、義務的に考えたり、無理に感じたりするプラごみ減らしだと、長続きさせるのが難しいことが多いのではないのでしょうか。
- ・それぞれのくらしの中で、プラスチックの有用性が必要な場面はたくさんあり、時と場合に応じて変わっていきます。その変化の中で、自分にできそうなことをやってみる（負担であれば元に戻す）ことの繰り返しを大切にして、くらしの見直しをしていきませんか。
- ・プラ以外のものを探すこと、プラ以外の素材の良さを見つけること、環境への影響を少し減らせたことを喜ぶことなど、プラごみ減らしをくらしの中で楽しみましょう。
- ・プラごみ減らしを楽しくできたら、家族、職場、友人など周りの人と共有したり、SNSで発信したりして、楽しさを広げましょう。

台所でプラスチック使用量を減らすアレコレ

①手作りを楽しむ

例えば野菜。本格的な家庭菜園でなくても、キッチンでベビーリーフやカイワレ大根を育てたり、買ってきたネギを再生したり。

例えばお茶。京都市にはお茶文化の継承の意味も込めて「リーフ茶でペットボトルを減らそう」というキャンペーンがあります。麦茶も丸粒から煮出せば、パック不要です。

例えばドレッシング。「手作り 簡単 ドレッシング」などとネット検索すれば、家にある調味料でできるレシピがたくさん出てきます。時々試してはどうでしょうか。

②レンチンの蓋は「レンジ可の陶磁器」でも代用可能

プラごみ調べでは食品ラップの使用数も数えていただくので、毎回、関心が寄せられます。保存時には密閉容器や蜜蝋ラップなどへの切り替えができますし、レンジで加熱する際には、食器棚にある「レンジ使用可の陶磁器」をかぶせて使うこともできます。

分別回収をめぐるアレコレ

①分別回収の後、本当にリサイクルされているの？

家庭からのプラスチックごみの分別回収は、法律に定められたルートでリサイクルするルールに従って行われています。回収されたごみは選別作業により、リサイクルできるプラごみだけがリサイクルされます。

公表データや事務局のヒアリングによれば、自治体による回収後の選別では1割程度が異物や汚れがひどいものとして取り除かれます。リサイクル工場では再度選別が行われ、約5割が再生プラスチック原料になったり、ガスや油の状態にして製品原料に使うなどして、リサイクルされています。残りの5割はリサイクルできない残渣として、ごみ発電用の燃料に加工されたり、焼却処理されています。

②汚れているプラごみをどこまで洗う？


軽く水洗いしても汚れが落ちなければ、焼却ゴミとして出すこととしている自治体が多いです。お住いの自治体のルールを確認しましょう。

③リサイクルすれば、たくさん使ってもいい？

プラごみといってもプラスチックの種類が様々で、混在しているとリサイクルできなかったり、できても品質が悪いため用途が限られています。(ですからPETボトルや白色トレイなど単一素材で回収している場合は、そのルートに出しましょう。)

リサイクルするにもエネルギーが必要で、永遠にリサイクルし続けることはできません。また、現在では余りにも多くのプラスチックを様々な形で消費しているので、環境中への意図しない放出をなくすことは不可能です。






使用量そのものを減らす取り組みを社会全体で進めることが求められる状況ではないでしょうか。

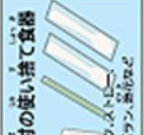
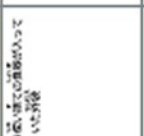



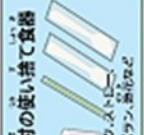
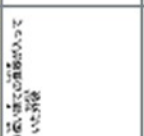
家 庭 の プ ラ ご み 調 べ
記 入 票 2022


< 調べた日 >





月 日 ~ 月 日 (日 前)

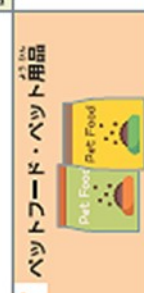



	容器包装プラスチック	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>PET ペットボトル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>外袋・カップ、 トレイ・蓋、 フィルムなど (ボトル以外すべて)</p> </div> </div>	 <p>フタ・筒身・ラベル ラベル、ラップ、 内袋、仕切ほか</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 飲料・酒</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 食品 (飲料・酒以外の 食品すべて) <small>弁当・惣菜・生鮮食品(凍結・冷凍) 洗剤・菓子・パン・惣菜類など</small></p> </div> </div>		


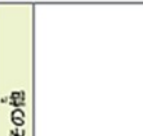
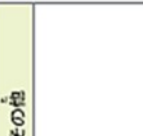
	使い捨てプラスチック	容器包装プラスチック	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>使い捨てプラスチック <small>(PET製ボトル、スプレー容器のキャップ)</small></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>使い捨てプラスチック <small>(PET製ボトル以外すべて)</small></p> </div> </div>	 <p>フタ・筒身・ラベル ラップ、内袋、仕切ほか</p>		




	食品購入時に添付の使い捨て食器	自分で購入した使い捨て食器	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 食品購入時に添付の使い捨て食器 <small>(スプーン・フォーク・ストロー、 マドラー、コップ、バラン、箸など)</small></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 自分で購入した使い捨て食器 <small>(スプーン・フォーク・ストロー、 マドラー、コップ、バラン、箸など)</small></p> </div> </div>			


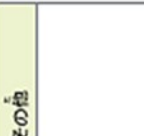
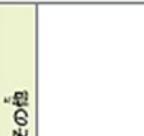
食品ラップ (自分で購入したもの)	捨てた数量	捨てた数量
	<p>捨てた数量</p>	<p>捨てた数量</p>

6 生活用品 (食品・食器・ラップ以外すべて)	使い捨てプラスチック	容器包装プラスチック	フタ・筒身・ラベル ラップ、内袋、仕切ほか
 <p>6 生活用品 (食品・食器・ラップ以外すべて) <small>マスク、ティッシュ、ペーパータオル、洗剤、漂白剤、洗剤類、 コンタクトレンズ、化粧品、シャンプー、歯磨き粉、 歯ブラシ、歯ブラシ類、文房具、おもちゃ、スポーツ用品、薬品類など</small></p>	 <p>使い捨てプラスチック <small>(PET製ボトル、スプレー容器のキャップ)</small></p>	 <p>容器包装プラスチック</p>	 <p>フタ・筒身・ラベル ラップ、内袋、仕切ほか</p>

7 ペットフード・ペット用品	使い捨てプラスチック	容器包装プラスチック	フタ・筒身・ラベル ラップ、内袋、仕切ほか
 <p>7 ペットフード・ペット用品 <small>Pet Food</small></p>	 <p>使い捨てプラスチック</p>	 <p>容器包装プラスチック</p>	 <p>フタ・筒身・ラベル ラップ、内袋、仕切ほか</p>

8 レジ袋・ポリ袋	本体	その他
 <p>8 レジ袋・ポリ袋 <small>・買い物袋等に活用される、資源も入れる袋</small></p>	 <p>本体</p>	 <p>その他</p>

9 配膳用の袋類	本体	その他
 <p>9 配膳用の袋類 <small>・お箸、お箸の袋、箸袋、ダイレクトメール封筒、 お茶袋、お茶袋の袋、お茶袋、お茶袋の袋、 クッキングシート、箸袋、クリニニングの袋など</small></p>	 <p>本体</p>	 <p>その他</p>

10 その他・不明	使い捨てプラスチック、容器包装プラスチック	その他
 <p>10 その他・不明</p>	 <p>使い捨てプラスチック、容器包装プラスチック</p>	 <p>その他</p>

***プラスチック製品の本体は、1回で使い捨てにするものだけを教えてください。**
 *どの種に記入するかは判断はできません。わからないものは「その他」に記入してください。
 *調べる対象となるプラスチックは、「燃えるごみ」に出すものと、「資源物プラスチック」(ペットボトル)などに出すものがありますので、すべて教えてください。

※アンケートで記入してください

<お名前>

不審と感じた容器包装プラ・使い捨てプラがあれば教えてください

プラごみを減らすための工夫、提案、意見を教えてください

感想・意見を自由にご記入ください

*ご返答ありがとうございます

※アンケートで記入してください

<お名前>

<調べたい月 日～月 日(日曜)>

調査項目①：基本項目

a	あなたを含めた調査対象の人数	人
b	あなたの年齢	20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳以上
c	お住まいの市町村名	市・町・村
d	プラごみ調べ参加回数	はじめて 2回目 3回目

調査項目②：減えたプラごみの数

	資源物(紙・プラスチック)	燃焼物(PET、PP、PE、PS、PC、ABS、PVC、EVA、その他)	燃焼物(繊維、皮革、ゴム、木材、その他)
1 飲料・酒			
2 食品			
3 洗濯・掃除用品			
4 化粧品			
5 家庭用品			
6 生活用品			
7 ペットフード・ペット用品			
8 レジャー・ポリ袋			
9 産廃物の資源			
10 その他(未明)			

調査項目③：調査後の意識

調査前後比べて、買い癖やゴミ処理する時にプラごみについて意識するようになりましたか？	調査前から意識していた 意識するようになった 変わらない
--	------------------------------

この報告書を含めて、「家庭のプラごみ調べ」に関わる資料（pdf ファイル）は
大阪消団連の web サイトで公開しています。自由にご活用ください。

<https://osakacon.org/pr.html>



* お問合せ *

全大阪消費者団体連絡会（大阪消団連）
〒540-0026 大阪市中央区本町 2-1-19-430
TEL.06-6941-3745（平日 10～17 時）
e-mail : o-shoudanren@mb8.seikyoku.ne.jp